

## 【ワークシート⑤】 第1段階の単元設計チェックリスト

単元設計テンプレートに記入した単元目標, 「本質的な問い」, 「永続的理解」, 知識・技能をそれぞれ以下の観点から見直してみましょう。

単元目標	
該当の単元に直接関連し第2段階で評価されるゴール（学習指導要領・教科書など教材研究をふまえた目標）が過不足なく書かれている。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
「本質的な問い」	
単元ごとの「本質的な問い」が該当の単元での探究を形づくり, 手引きする一方で, 包括的な「本質的な問い」は「重大な観念」を明確にし, 他の単元や文脈につながる。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
「本質的な問い」は, 事実目に向けさせる「先導する問い」というよりはむしろ, 刺激的で議論を引き起こすものである。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
必要に応じて, 子どもたちにとってのわかりやすさのために, 適切な「子どもの言葉」を用いて, 「本質的な問い」がつけられている。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
「永続的理解」	
適切なゴール（学校のカリキュラムの目標や学習指導要領など）から引き出されている。または, 適切なゴールと足並みがそろっている。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
（「重大な観念」の転移を促すための）包括的な理解と（指導や学習, 評価に焦点を合わせるための）単元ごとの理解がどちらも書かれている。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
「子どもは, ～が……だと理解する」という定型文に即した完全な文として書かれている。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
定義上, 明白でも真実でもない（つまり, 事実に基づく知識ではない）。子どもが理解できるようになるために, （たんに述べられるよりはむしろ）看破される必要がある。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
知識・技能	
評価基準を満たしたり, 望ましい理解を可能にしたりするために必要な鍵となる知識・技能が明らかになっている。	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

\* McTighe, J. & Wiggins, G., *Understanding by Design: Professional Development Workbook*, ASCD, 2004, p. 126 をもとに本宮裕示郎作成。奥村好美・西岡加名恵編著『「逆向き設計」実践ガイドブック』日本標準, 2020年, 巻末資料⑤。